

平成25年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年4月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社FPG

コード番号 7148 URL <http://www.fpg.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 谷村 尚永

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長

(氏名) 久保出 健二

TEL 03-5288-5691

四半期報告書提出予定日 平成25年5月13日

配当支払開始予定日

平成25年5月30日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年9月期第2四半期の連結業績(平成24年10月1日～平成25年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年9月期第2四半期	2,111	—	1,206	—	1,101	—	669	—
24年9月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 25年9月期第2四半期 671百万円 (—%) 24年9月期第2四半期 1百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
25年9月期第2四半期	79.53	77.17
24年9月期第2四半期	—	—

(注1) 平成25年9月期第2四半期より、四半期連結財務諸表を作成しているため、平成24年9月期第2四半期の実績及び増減率は記載しておりません。

(注2) 平成25年6月1日付で普通株式1株につき3株の株式分割を行う予定です。上記の1株当たり情報には、当該株式分割による影響は反映しておりません。

当該株式分割が当連結会計年度の期首に行われたと仮定した場合の1株当たり情報は以下のとおりであります。

1株当たり四半期純利益 26円51銭 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 25円72銭

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年9月期第2四半期	6,072	—	4,000	—	—	65.9
24年9月期	—	—	—	—	—	—

(参考) 自己資本 25年9月期第2四半期 4,000百万円 24年9月期 1百万円

(注) 平成25年9月期第2四半期より、四半期連結財務諸表を作成しているため、平成24年9月期の実績は記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
24年9月期	—	5.00	—	32.00	37.00
25年9月期	—	5.00	—	—	—
25年9月期(予想)	—	—	—	10.67	15.67

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

(注1) 平成24年9月期の第2四半期末配当金5円00銭は、東京証券取引所市場第二部上場及び当社設立10周年に関する記念配当であります。

(注2) 平成25年9月期の第2四半期末配当金5円00銭は、東京証券取引所市場第一部上場に関する記念配当であります。

(注3) 平成25年6月1日付で普通株式1株につき3株の株式分割を行う予定です。上記の1株当たり配当金のうち、平成24年9月期第2四半期及び期末並びに平成25年9月期第2四半期は、当該株式分割前の金額であり、平成25年9月期(予想)の期末は当該株式分割後の金額であります。

参考情報として、当該株式分割が前事業年度の期首に行われたと仮定した場合の1株当たり配当金は以下のとおりであります。

平成24年9月期 第2四半期 1円67銭 期末 10円67銭 合計 12円34銭

平成25年9月期 第2四半期 1円67銭 期末(予想) 10円67銭 合計 12円34銭

3. 平成25年9月期の連結業績予想(平成24年10月1日～平成25年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	3,364	—	1,621	—	1,469	—	853	—	33.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注1) 平成25年9月期第2四半期より、四半期連結財務諸表を作成しているため、増減率は記載しておりません。

(注2) 1株当たり当期純利益の算定にあたっては、平成24年10月及び11月に実施した増資による影響を反映しております。

(注3) 平成25年6月1日付で普通株式1株につき3株の株式分割を行う予定です。上記の1株当たり当期純利益には、当該株式分割による影響を反映しております。当該株式分割による影響を反映する前の1株当たり当期純利益は、100円66銭であります。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) 株式会社FPG証券、除外 1社 (社名)

(注)詳細は、添付資料11ページ「当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料11ページ「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年9月期2Q	8,528,400 株	24年9月期	7,501,800 株
② 期末自己株式数	25年9月期2Q	702 株	24年9月期	702 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年9月期2Q	8,422,366 株	24年9月期2Q	7,411,123 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料8ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

平成25年9月期 第2四半期 決算概要	2
1. 当四半期決算に関する定性的情報	3
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	3
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	6
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	8
(4) その他	9
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	11
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	11
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	11
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	11
3. 四半期連結財務諸表	12
(1) 四半期連結貸借対照表	12
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	13
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	13
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	14
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	15
(4) 継続企業の前提に関する注記	16
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	16
(6) 重要な後発事象	16

平成25年9月期 第2四半期 決算概要

- 当社は、平成24年10月22日付で、東京証券取引所市場第一部銘柄に指定されました。一部指定による信用力向上効果は、リース事業の組成、出資金の販売、その他業務拡大に貢献しております。
- 平成25年3月に株式会社F P G証券を連結子会社としたことにより、当第2四半期より連結決算に移行しております。

損益の状況

(単位：百万円)

	(個別決算) 平成24年9月期 第2四半期	(連結決算) 平成25年9月期 第2四半期	増減額
売上高	1,342	2,111	+ 769
売上原価	188	325	+ 136
販売費一般管理費	452	579	+ 126
(うち人件費)	195	318	+ 122
(期末従業員数)	46名	72名	+ 26名
営業利益	701	1,206	+ 505
経常利益	649	1,101	+ 451
四半期純利益	377	669	+ 291
リース事業組成金額	34,357	25,786	▲ 8,570
出資金販売額	8,959	12,675	+ 3,716

好調な販売環境を背景に、投資家の出資金に対する引き合いが強く推移し、下半期に販売予定であった出資金を前倒して販売する等、売上高が増加しました。

一方で、将来の業績拡大のための人員増による人件費等の費用も増加しましたが、売上高の増加により吸収した結果、増収増益となりました。

リース事業組成金額は、案件の条件や、組成時期によって、大きく変動いたします。前年同期よりも減少しておりますが、現時点では、概ね、通期計画の範囲内で、推移しております。

通期業績予想の状況

(単位：百万円)

	(連結決算) 平成25年9月期 第2四半期 (実績) 6か月	(連結決算) 平成25年9月期 通期 (予想) 12か月
売上高	2,111	3,364
営業利益	1,206	1,621
経常利益	1,101	1,469
当期(四半期)純利益	669	853
リース事業組成金額	25,786	71,860
出資金販売額	12,675	23,000

出資金販売が好調で、下半期販売予定の出資金を前倒して販売したこと等から、通期予想に対する、第2四半期実績の進捗率が高くなっております。

現時点では、通期としては、リース事業の組成金額及び出資金の販売額は、概ね計画の範囲内であることから、業績予想の変更はありません。

連結子会社の業績について、当期は、証券事業等の事業開始準備が中心となることから、通期業績予想に与える影響は軽微と判断しております。

財政状態の状況

(単位：百万円)

	(個別決算) 平成24年 9月末	(連結決算) 平成25年 3月末	増減額
資産合計	5,919	6,072	+ 153
(現金及び預金)	1,987	3,313	+1,326
(商品出資金)	3,152	1,840	▲1,312
負債合計	3,368	2,072	▲1,296
(借入金・社債)	1,998	1,148	▲ 849
(前受金)	557	196	▲ 360
純資産合計	2,551	4,000	+1,449
コミットメントライン等の 資金調達枠	9,850	16,650	+6,800

好調な販売環境を背景に、積極的に販売を進めたことから、商品出資金は、前年度末に比べ減少いたしました。

借入金は、増資の払込金等により、返済を進めたことから、残高が減少しております。

増資により、1,011百万円の払込を頂いた結果、純資産が増加し、財務基盤が強化されました。

機動的な資金調達が可能となるコミットメントライン契約等の資金調達枠が大幅に増加しました。

(注)前年同期及び前年度末は、連結決算を行っておりませんので、個別決算との比較を行っております。

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は、当第2四半期より、四半期連結財務諸表を作成しており、前年同期の四半期連結財務諸表または前連結会計年度の連結財務諸表は作成しておりません。

そのため、連結ベースでの前年同期または前年度末の金額との比較分析はできませんが、以下の各情報については、比較可能性の観点から、参考情報として、前年の個別決算に基づく金額との比較分析を記載しております。

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

(単位：百万円)

	(参考) (個別決算) 平成23年9月期 第2四半期	(参考) (個別決算) 平成24年9月期 第2四半期	(連結決算) 平成25年9月期 第2四半期	(参考) 増減額	(参考) 増減率
売上高	1,265	1,342	2,111	+ 769	+ 57.3%
売上原価	171	188	325	+ 136	+ 72.8%
販売費及び一般管理費	335	452	579	+ 126	+ 28.0%
営業利益	758	701	1,206	+ 505	+ 72.0%
営業外収益	13	51	30	▲ 20	▲ 40.4%
営業外費用	58	103	136	+ 33	+ 32.1%
経常利益	713	649	1,101	+ 451	+ 69.4%
四半期純利益	416	377	669	+ 291	+ 77.2%
リース事業組成金額	15,150	34,357	25,786	▲ 8,570	▲ 24.9%
出資金販売額	8,387	8,959	12,675	+3,716	+41.5%

(注) 出資金販売額：オペレーティング・リース事業の匿名組合契約に基づく権利の販売額

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、欧州債務問題や、新興国経済の減速等により、先行き不透明な状況が継続しており、日本経済は、円高の是正、株価回復等、明るい兆しも見え始めたものの、世界経済の不安定化の影響を受け、総じて、弱含みで推移いたしました。

このように厳しさのある経営環境ではありましたが、当社は、より一層の信用力の向上を図るため、平成24年10月22日付で、東京証券取引所市場第一部に上場を果たしております。

当社の取引先には、オペレーティング・リース事業の賃借人となる世界的にも大手の海運会社・航空会社、匿名組合投資家となる業績好調の国内中小法人、顧客紹介者となる会計事務所、金融機関等、資金調達先となる金融機関等が含まれますが、東証一部上場による信用力向上効果は、各分野における新規取引先との取引開始や取引先との取引金額の拡大を図るうえで、大いに貢献しております。

売上高

(タックス・リース・アレンジメント事業)

オペレーティング・リース事業の組成につきましては、組成部門の継続的な強化を図りつつ、組成サポートを行う欧州合弁会社と連携しながら、新規賃借人の開拓に努めました。組成サポートを行う欧州の合弁会社については、新たにシンガポールに同社の子会社を設立するなど、欧州

だけでなく、アジアにおけるリース事業の組成力の強化を図っております。

また、平成24年10月及び11月に実施した公募増資及び第三者割当増資により、財務基盤がさらに強固となったことを背景に、取引金融機関数を増加させた他、コミットメントライン契約及び当座貸越契約の資金調達枠の総額を、前年度末の98.5億円から当第2四半期連結会計期間末の166.5億円に増加させる等、資金調達力も向上させました。

これらの結果、欧州及びアジアの一流航空会社を、新規賃借人として開拓するなど、オペレーティング・リース事業の組成金額は、25,786百万円となりました。なお、組成金額は、案件の条件や、組成時期によって、大きく変動いたします。前年同期に比べ、24.9%の減少となりましたが、概ね計画の範囲内で、推移しております。

出資金の販売につきましては、復興需要や、法人税率の引き下げを背景に、業績好調で、課税の繰り延べニーズがある投資家からの出資金に対する需要が、強く推移しており、積極的な人材採用による営業部門の強化、会計事務所や金融機関を紹介者とする販売ネットワークの拡充による販売力の向上とあいまって、好調に推移しました。

これらの結果、出資金販売額は、投資家の出資金に対する強い引き合いを背景に、下半期に販売を見込んでいた出資金を前倒しで販売するなど、12,675百万円（前年同期比41.5%増）となりました。

上記の結果、タックス・リース・アレンジメント事業の売上高は、2,006百万円（前年同期比56.4%増）となりました。

(その他事業)

タックス・リース・アレンジメント事業以外のその他事業の売上高は、人員強化・提携推進等の各種施策の効果により、105百万円（前年同期比77.3%増）となりました。

このうち保険仲立人業の売上高は、92百万円（前年同期比81.4%増）、M&Aアドバイザリー業の売上高は、11百万円（前年同期1百万円）となりました。

(注) その他事業には、保険仲立人業、M&Aアドバイザリー業、金融商品仲介業が含まれます。

上記の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、2,111百万円（前年同期比57.3%増）となりました。

売上原価

売上原価につきましては、売上拡大に伴い、紹介者への支払手数料が増加したこと等から、325百万円（前年同期比72.8%増）となりました。

販売費及び一般管理費

販売費及び一般管理費は、業容拡大による人員の増加等により、579百万円（前年同期比28.0%増）となりました。

特に人件費(注)は、318百万円（前年同期比62.6%増）となりました。これは、将来の業績拡

大を図るため、営業部門を中心に人材採用を積極的に進めたことから、従業員数(就業人員)が、当第2四半期連結会計期間末で72名(前第2四半期会計期間末は46名)となったためであります。

(注) 人件費には、給料手当、賞与(引当金繰入額含む)、法定福利費、福利厚生費等の他、人材採用費を含めております。

営業利益

上記の結果、営業利益は、1,206百万円(前年同期比72.0%増)となりました。

営業外収益／営業外費用

営業外収益は、投資家から收受している商品出資金の立替利息である受取利息23百万円(前年同期比37.2%減)、為替差益6百万円(前年同期比48.2%減)の計上等により、30百万円(前年同期比40.4%減)となりました。

営業外費用は、コミットメントライン契約の拡大に伴い、支払手数料118百万円(前年同期比127.3%増)を計上したこと、また、支払利息12百万円(前年同期比76.2%減)を計上したこと等により、136百万円(前年同期比32.1%増)となりました。

経常利益／四半期純利益

上記の結果、経常利益は1,101百万円(前年同期比69.4%増)、法人税等を控除した四半期純利益は669百万円(前年同期比77.2%増)となりました。

※ 当社の事業セグメントは、単一セグメントとしておりますので、上記の売上高については、事業セグメント別ではなく、提供するサービスで区別した事業別に記載しております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

(単位：百万円)

	(参考) (個別決算) 平成24年 9月末	(連結決算) 平成25年 3月末	(参考) 増減額
資産合計	5,919	6,072	+ 153
(現金及び預金)	1,987	3,313	+1,326
(商品出資金)	3,152	1,840	▲1,312
負債合計	3,368	2,072	▲1,296
(借入金・社債)	1,998	1,148	▲ 849
(未払法人税等)	456	343	▲ 113
(前受金)	557	196	▲ 360
純資産合計	2,551	4,000	+1,449
(資本金)	338	844	+ 505
(資本剰余金)	288	794	+ 505
(利益剰余金)	1,924	2,360	+ 436

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、6,072百万円(前年度末比153百万円の増加)となりました。

これは主に、将来の販売に備え、組成を行った一方で、好調な販売環境を背景に、販売が進んだことから、商品出資金が1,840百万円となったこと、利益の積み上げや、将来の組成資金として活用予定の現金預金が3,313百万円となったことによるものであります。

負債合計は、2,072百万円(前年度末比1,296百万円の減少)となりました。

これは主に、商品出資金の取得原資としての借入金・社債について、その返済を進めた結果、1,148百万円となったこと、下半期以降に販売予定の商品出資金に係る手数料等の前受金が196百万円となったこと、未払法人税等が343百万円となったことによるものであります。

純資産合計は、4,000百万円(前年度末比1,449百万円の増加)となりました。

これは主に、公募増資及び第三者割当増資の実施により、資本金及び資本剰余金が、それぞれ505百万円、合計1,011百万円増加し、資本金が844百万円、資本剰余金が794百万円となったこと、また、前年度末を基準日とする配当(240百万円)を実施した一方で、四半期純利益669百万円を計上したことにより、利益剰余金が2,360百万円となったことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

(単位：百万円)

	(参考) (個別決算) 平成24年9月期 第2四半期 累計期間	(連結決算) 平成25年9月期 第2四半期 連結累計期間
営業活動によるキャッシュ・フロー	▲2,522	1,625
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲26	▲98
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,176	▲202
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,854	3,313

当第2四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）の残高は、当第2四半期連結累計期間期首に比べて1,326百万円増加し、3,313百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

主に、法人税等を支払ったものの、税金等調整前四半期純利益の計上や、商品出資金の販売による資金増加があったことから、営業活動から得た資金は、1,625百万円となりました。

なお、前年同期は、主に商品出資金の取得が増加したことから、2,522百万円の資金支出でありました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

主に、株式会社F P G証券（旧フィンテックグローバル証券株式会社）の株式取得により、55百万円の支出(注)があったことから、投資活動において使用した資金は98百万円となりました。

なお、前年同期は、26百万円の資金支出でありました。

(注) 株式取得価額から、同社を連結の範囲に含めた際の同社の現金預金残高を相殺した額となっております。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

主に、株式の発行による収入があった一方で、借入金・社債の返済を進めたこと、配当金を支払ったことから、財務活動において使用した資金は、202百万円となりました。

なお、前年同期は、主に商品出資金の取得のための資金調達が増加したことから、3,176百万円の資金収入でありました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想につきましては、以下のとおりであります。

連結子会社については、当連結会計年度は、事業開始のための準備が中心となることから、業績予想に与える影響に重要性はないと判断し、平成24年10月に公表いたしました個別の通期予想と同額とさせていただきます。

また、第2四半期連結累計期間の実績は、通期の予想と比べ、その進捗率が高くなっておりますが、これは、リース事業の組成金額及び出資金の販売額は、通期としては、概ね当初計画の範囲内で推移しており、現時点での通期業績見込みは、前回発表の業績予想と、概ね同水準になる見通しのためです。

	第2四半期 連結累計期間 (実績)	通期 (予想)
売上高	2,111 百万円	3,364 百万円
営業利益	1,206 百万円	1,621 百万円
経常利益	1,101 百万円	1,469 百万円
当期(四半期)純利益	669 百万円	853 百万円
リース事業組成金額	25,786 百万円	71,860 百万円
出資金販売額	12,675 百万円	23,000 百万円

各四半期の売上高についての補足

当社の販売する出資金は、投資家が各リース事業案件の初回損益分配期日までに投資することにより投資効果が得られますが、投資家は自社決算の趨勢が判明する決算月に近い時期に投資を決定する傾向があります。国内法人の傾向として、3月決算もしくは9月決算が多いため、出資金の販売時期も、3月もしくは9月が多くなり、結果として、当社の売上高は、第2四半期会計期間及び第4四半期会計期間に偏重する傾向があります。ただし、販売状況、初回損益分配時期が到来する案件の多寡等、様々な要因で上記の通りにならない場合があります。

当第2四半期累計期間の売上高は、予想以上に旺盛な投資家の需要に対応するべく、出資金を前倒しで販売したことから、以下のとおり、第2四半期会計期間よりも、第1四半期会計期間に偏重いたしました。

第3四半期会計期間及び第4四半期会計期間の売上高につきましては、第4四半期会計期間に偏重すると予想しております。

(参考) 各四半期ごとの売上高推移

(単位：百万円)

	平成23年9月期		平成24年9月期		平成25年9月期	
	売上高	出資金 販売額	売上高	出資金 販売額	売上高	出資金 販売額
第1四半期会計期間 (10月1日～12月31日)	712	5,088	343	2,346	1,297	7,278
第2四半期会計期間 (1月1日～3月31日)	553	3,298	999	6,612	814	5,397
第3四半期会計期間 (4月1日～6月30日)	207	1,279	445	3,128		
第4四半期会計期間 (7月1日～9月30日)	519	3,739	1,014	7,697		
年間合計 (10月1日～9月30日)	1,992	13,407	2,802	19,785	3,364	23,000

(注) 平成25年9月期第2四半期及び年間合計は、連結ベースの金額を記載しております。

(4) その他

当社は、当第2四半期連結累計期間及び現在までに、以下の施策を実施または決定しております。

① 株式会社F P G証券の連結子会社化及び証券事業への進出について

平成25年3月1日付で、株式会社F P G証券（旧商号フィンテックグローバル証券株式会社）の全株式を取得し、同社を当第2四半期より、連結子会社としております。

同社株式の取得価額は、160百万円（注）であり、のれんが55百万円発生いたしました。のれんは、5年間で定額償却することとしております。のれんの未償却残高は、四半期連結貸借対照表の無形固定資産に含めております。

今後、同社を中心に、金融商品の組成及び販売並びに金融アドバイザー業務を含めた、証券業へ進出することを決定しており、現在、事業開始に向けて、準備を行っております。

（注）その後、同社の増資を引き受けた結果、260百万円となっております。

② 不動産関連事業への進出について

平成25年4月8日付で、不動産特定共同事業法（不特法）に基づく、不動産小口化商品を、投資家にご提供することを企図して、不動産関連事業への進出を決定しており、現在、事業開始に向けて、準備を行っております。

③ 株式分割について

当社は、平成25年4月30日の取締役会において、平成25年5月31日を基準日とし、平成25年6月1日を効力発生日とする、普通株式1株を3株に分割する株式分割を実施することを決定しております。

当該株式分割の詳細につきましては、(6) 重要な後発事象をご参照ください。

④ 配当について

平成25年2月25日に公表しましたとおり、当社は、東京証券取引所市場第一部への上場を記念し、株主の皆様へ感謝の意を表するため、第2四半期末配当（中間配当）として、1株当たり5円00銭の記念配当を実施させて頂くこととしております。

また、株式分割の実施を決定したことに伴い、期末配当金の予想額について、修正を行っております。この修正は、株式1株を3株に分割することに伴うものであり、配当金総額に、実質的な変更はありません。

なお、当該株式分割は、平成25年6月1日に効力が発生いたしますので、第2四半期末の配当は、今回の株式分割の影響は受けません。

これらの結果、平成25年9月期の配当金は以下のとおりとなります。通期予想の当期純利益に対する配当性向は、36.8%となる見込みです。

	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	合計
平成25年9月期	5円00銭	10円67銭	15円67銭

比較可能性の観点から、当該株式分割を遡及修正した1株当たり配当金は以下のとおりであります。()内は、株式分割前の金額であります。

	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	合計
平成25年9月期	1円67銭 (5円00銭)	10円67銭 (32円00銭)	12円34銭 (37円00銭)
前期実績(平成24年9月期)	1円67銭 (5円00銭)	10円67銭 (32円00銭)	12円34銭 (37円00銭)

(注) 銭未満に端数が生じる場合には切り上げております。

⑤ 株主優待について

今回の株式分割に伴い、株主優待の贈呈基準を変更いたします。なお、株式1株を3株に分割することに伴う変更であり、優待内容に、実質的な変更はありません。

また、今回の株式分割は、平成25年6月1日に効力が発生いたしますので、平成25年3月末現在の株主名簿に記載された株主様に対する優待は、従来どおりの基準(以下の変更前基準)に基づき、贈呈させて頂く予定です。

贈呈基準		贈呈物
変更前基準 (平成25年3月末)	変更後基準 (平成25年9月末以降)	
保有株式 100株以上1,000株未満	保有株式 300株以上3,000株未満	1,000円相当のクオカード 1枚
保有株式 1,000株以上につき	保有株式 3,000株以上につき	3,000円相当のクオカード 1枚

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

平成25年3月1日付で、株式会社F P G証券（同日付で、フィンテックグローバル証券株式会社から商号変更しております。）の全株式を取得し、同社を、連結の範囲に含めております。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年10月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。これによる当第2四半期連結累計期間の四半期財務諸表に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間
 (平成25年3月31日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	3,313,473
売掛金	62,972
貯蔵品	2,543
商品出資金	1,840,446
繰延税金資産	73,084
その他	109,767
流動資産合計	5,402,287
固定資産	
有形固定資産	118,881
無形固定資産	57,553
投資その他の資産	493,611
繰延税金資産	25,261
その他	468,349
固定資産合計	670,045
資産合計	6,072,333
負債の部	
流動負債	
買掛金	97,803
短期借入金	663,900
1年内返済予定の長期借入金	25,000
1年内償還予定の社債	20,000
未払法人税等	343,005
前受金	196,721
賞与引当金	55,492
資産除去債務	1,960
その他	194,963
流動負債合計	1,598,846
固定負債	
社債	40,000
長期借入金	400,000
資産除去債務	33,227
固定負債合計	473,227
負債合計	2,072,074
純資産の部	
株主資本	
資本金	844,406
資本剰余金	794,406
利益剰余金	2,360,505
自己株式	△310
株主資本合計	3,999,007
その他の包括利益累計額	
為替換算調整勘定	1,252
その他の包括利益累計額合計	1,252
純資産合計	4,000,259
負債純資産合計	6,072,333

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年10月1日 至 平成25年3月31日)
売上高	2,111,533
売上原価	325,086
売上総利益	1,786,447
販売費及び一般管理費	579,792
営業利益	1,206,654
営業外収益	
受取利息	23,296
為替差益	6,676
その他	790
営業外収益合計	30,764
営業外費用	
支払利息	12,101
株式交付費	2,319
支払手数料	118,640
持分法による投資損失	3,092
営業外費用合計	136,154
経常利益	1,101,264
特別損失	
関係会社株式評価損	198
特別損失合計	198
税金等調整前四半期純利益	1,101,066
法人税、住民税及び事業税	335,445
法人税等調整額	95,782
法人税等合計	431,227
少数株主損益調整前四半期純利益	669,838
四半期純利益	669,838

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年10月1日 至 平成25年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	669,838
その他の包括利益	
持分法適用会社に対する持分相当額	1,252
その他の包括利益合計	1,252
四半期包括利益	671,090
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	671,090
少数株主に係る四半期包括利益	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間
(自 平成24年10月1日
至 平成25年3月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	1,101,066
減価償却費	13,233
のれん償却額	924
株式交付費	2,319
支払手数料	118,640
関係会社株式評価損	198
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△19,444
受取利息	△23,296
支払利息	12,101
為替差損益 (△は益)	△1,042
持分法による投資損益 (△は益)	3,092
売上債権の増減額 (△は増加)	△21,858
商品出資金の増減額 (△は増加)	1,312,013
敷金及び保証金の増減額 (△は増加)	△141,000
仕入債務の増減額 (△は減少)	30,226
前受金の増減額 (△は減少)	△360,384
その他	35,314
小計	2,062,105
利息の受取額	23,296
利息の支払額	△13,892
法人税等の支払額	△445,630
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,625,880
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△7,202
無形固定資産の取得による支出	△2,087
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△55,017
子会社株式の取得による支出	△940
敷金及び保証金の差入による支出	△33,211
投資活動によるキャッシュ・フロー	△98,459
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△943,200
長期借入れによる収入	200,000
長期借入金の返済による支出	△96,174
社債の償還による支出	△10,000
株式の発行による収入	1,006,856
配当金の支払額	△239,514
手数料の支払額	△120,021
財務活動によるキャッシュ・フロー	△202,053
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,042
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,326,409
現金及び現金同等物の期首残高	1,987,063
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,313,473

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成24年10月19日を払込期日とする公募増資及び平成24年11月14日を払込期日とする第三者割当増資を実施いたしました。この結果、当第2四半期連結累計期間において資本金が505,800千円、資本剰余金が505,800千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において、資本金が844,406千円、資本剰余金が794,406千円となっております。

(6) 重要な後発事象

(株式の分割)

投資単位当たりの金額を引き下げることで株式の流動性を高め、投資家にとって、より投資しやすい環境を整えることで、投資家層の拡大を図るため、平成25年4月30日開催の取締役会決議に基づき、平成25年6月1日付で株式分割を行うことといたしました。

(1) 株式分割の方法

平成25年5月31日を基準日として、同日の最終の株主名簿に記載または記録された株主の所有する普通株式1株につき3株の割合をもって分割いたします。

(2) 分割により増加する株式数

株式分割前の当社発行済株式総数	8,528,400株
今回の分割により増加する株式数	17,056,800株
株式分割後の当社発行済株式総数	25,585,200株
株式分割後の発行可能株式総数	72,000,000株

(3) 株式分割の日程

基準日	平成25年5月31日
効力発生日	平成25年6月1日

(4) その他

当該株式分割が当連結会計年度の開始の日に行われたと仮定した場合の当第2四半期連結累計期間の1株当たり情報は、以下のとおりであります。

1株当たり四半期純利益	26.51円
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	25.72円

以 上